

人も地球も健康に

Yakult



全国で
1,200か所の
企業内保育所を運営



株式会社ヤクルト本社

第63期 中間期 株主通信

平成26年4月1日 ~ 平成26年9月30日

掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 第2四半期連結財務諸表等
- 09 特集 「ヤクルトレディの「仕事」と「家庭」を支えるヤクルトの企業内保育所」
- 11 会社情報
- 13 コラム 「ヤクルトをもっと知ろう! ~ヤクルト工場を見学しませんか~」

>> To Our Shareholders / Highlights of Consolidated

ごあいさつ



代表取締役会長（CEO）

堀 澄也



代表取締役社長（COO）

根岸 考成

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成26年4月1日から平成26年9月30日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

平成26年11月

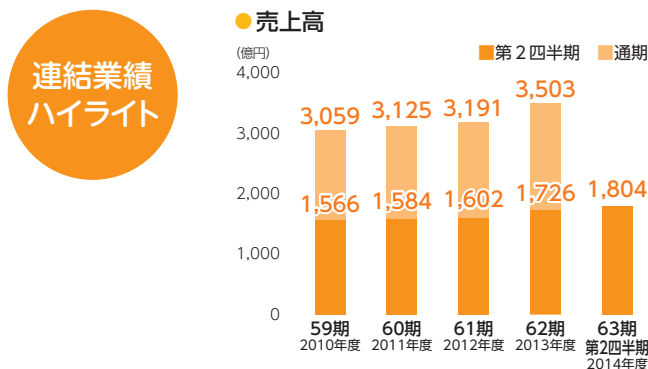


私たちは、生命科学の追究を基盤として、
世界の人々の健康で楽しい
生活づくりに貢献します。

当第2四半期について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がまだに残るものの、企業収益に改善の兆しが見られ、また設備投資の増加および雇用情勢の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

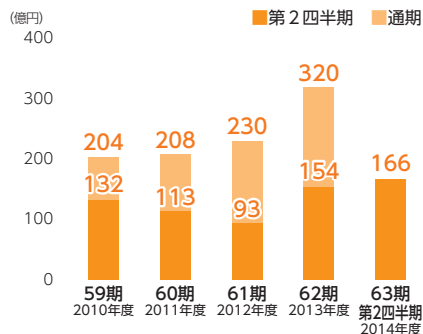


この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,804億円(前年同期比4.5%増)となりました。利益面においては、営業利益は166億円(前年同期比

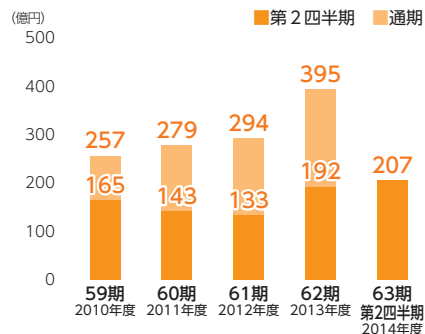
7.9%増)、経常利益は207億円(前年同期比7.9%増)、四半期純利益は120億円(前年同期比12.8%増)となりました。

	当第2四半期連結累計期間	通期の見通し
売上高	1,804 億円 (前年同期比 4.5% 増)	3,700 億円 (前期比 5.6% 増)
営業利益	166 億円 (前年同期比 7.9% 増)	345 億円 (前期比 7.7% 増)
経常利益	207 億円 (前年同期比 7.9% 増)	420 億円 (前期比 6.2% 増)
四半期(当期)純利益	120 億円 (前年同期比 12.8% 増)	240 億円 (前期比 6.5% 増)

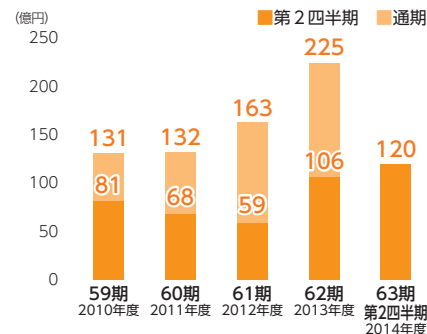
● 営業利益



● 経常利益



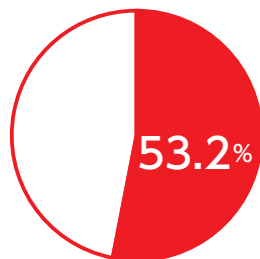
● 四半期(当期)純利益



>> Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門(日本)



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

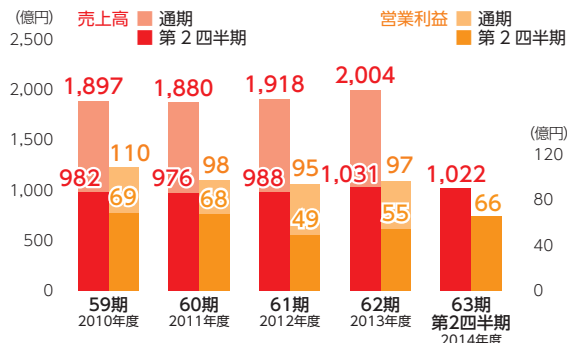
1,022 億円

(前年同期比: 0.8% ↓)

営業利益

66 億円

(前年同期比: 18.9% ↑)



日本国内における乳製品については、当社独自の「乳酸菌シロタ株」などの科学性や価値を広く訴求するため、エビデンス(科学的な根拠)を活用した「価値普及」活動を積極的に展開しました。

宅配チャネルにおいては、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」を中心とした飲用体感促進型普及活動の推進に努めました。

店頭チャネルにおいては、7月から8月まで乳製品乳酸菌飲料「Newヤクルト」10本マルチパック(東京ヤクルトスワローズ期

間限定デザイン)および「ヤクルトゴールド」を対象とした「夏を楽しもう!プロ野球応援フェア」を実施し、店頭向け商品の売り上げの増大を図りました。

商品別では、8月下旬までの期間限定アイテムは「酵乳「ジョア ピーチ」について、販売促進策を実施し、引き続き「ジョア」ブランドの活性化を図りました。

ジュース・清涼飲料については、5月にリニューアルおよびアイテム追加を行った乳性飲料「ミルージュ」シリーズを7月も引き続きテレビCMを放映するなど、ブランドの活性化を図りました。

2014年

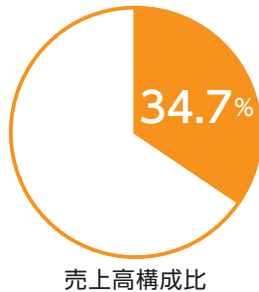
News & Topics

●「ミルミル」「ミルミルS」のパッケージデザインをリニューアル

は 酵乳「ミルミル」および「ミルミルS」のパッケージデザインが新しくなりました。トレードマークの「水玉模様」をモチーフに、当社独自のビフィズス菌を使用していることを、「大腸に生きてとどくビフィズス菌 BY株」のキャッチコピーで、よりわかりやすくしたデザインです。「ミルミルS」は、ベースカラーを従来のピンクから黄色に変更し、男性でも手に取りやすいデザインになりました。



飲料および食品製造販売事業部門(海外)



当第2四半期連結累計期間

売上高

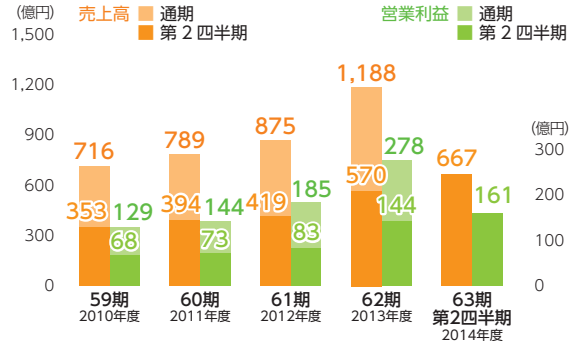
667 億円

(前年同期比: 17.1% ↑)

営業利益

161 億円

(前年同期比: 11.7% ↑)



米州地域

売上高 268 億円 (前年同期比: 8.4% ↑)

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

米国においては、5月にカリフォルニア工場での生産を開始し、商品の安定供給体制の強化を図るとともに、今後の事業の一層の拡大を目指しています。

アジア・オセアニア地域

売上高 354 億円 (前年同期比: 26.4% ↑)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

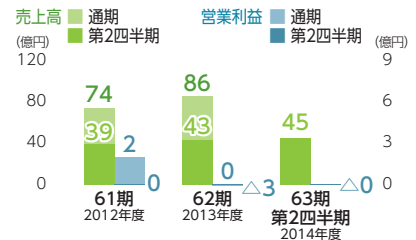
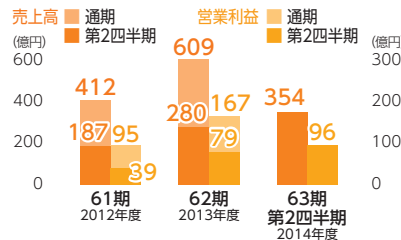
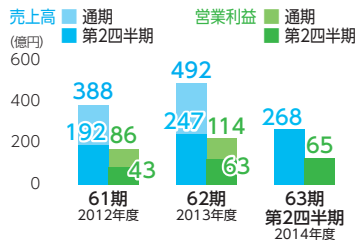
中国においては、販売本数の増加に伴い、6月の天津ヤクルト株式会社(天津工場)の第2工場棟での生産開始に続き、平成27年6月の生産開始を目指し、無錫ヤクルト株式会社(無錫工場)の工場建設に着手しました。また、8月から山西省太原市で、10月から黒竜江省ハルビン市で「ヤクルト」の販売を開始し、販売エリアの一層の拡大を図っています。

ヨーロッパ地域

売上高 45 億円 (前年同期比: 6.1% ↑)

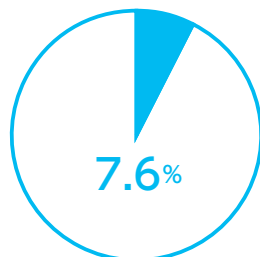
ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

同地域においては、5月から4か国目となるベルギーで「ヤクルト」に食物繊維などを添加した「ヤクルトプラス」の販売を開始しています。



>> Financial Result by Segments

医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

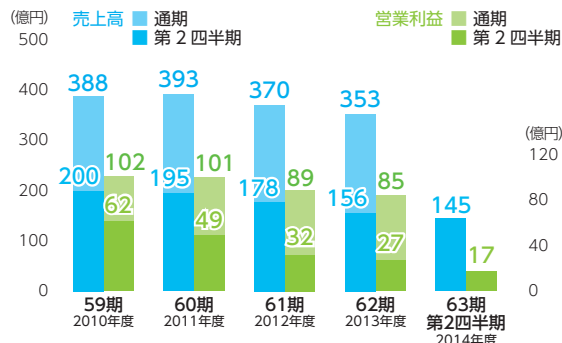
145 億円

(前年同期比：7.2% ↓)

営業利益

17 億円

(前年同期比：37.4% ↓)



医薬品については、国内において、がん化学療法剤「エルプラット」の進行・再発大腸がんに対する標準療法のさらなる浸透や、FOLFOXレジメンおよびXELOXレジメンによる術後補助化学療法（手術後の再発防止のための化学療法）の啓発を図るため、医療関係者を対象とした講演会や医局説明会などを積極的に開催しました。また、がん化学療法剤「カンプト」「エルプラット」および活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」を用いたFOLFIRINOX療法の、膵がんへの適正使用を推奨する活動を推進、代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタビンヤクルト」

ト」、遺伝子組み換えG-CSF製剤「ノイアップ」および骨病変治療薬「ブレドロン酸ヤクルト」などの販路拡大に努め、売り上げの増大を図りました。

研究開発においては、「エルプラット」の胃がんへの効能追加を申請しました。また、エテルナゼンタリス社から導入しているPI3K/Akt阻害剤「ペリフォシン」、4SC AG社から導入しているHDAC阻害剤「レスミノスタット」などのパイプラインの開発を推進し、これらにより、今後、がん領域でのさらなる強固な地位の確立を目指します。

2014年

News & Topics

● 人気の「ジョア アップル」が果汁を増量して再登場

今回の「ジョア」期間限定アイテムは、秋から冬にかけて旬を迎えるりんごを使用した「ジョア アップル」が再登場。ヨーグルトのまろやかさと、りんごの甘酸っぱい果汁感がマッチした風味が人気の「ジョア アップル」。2012年の発売時は5%であったりんご果汁の含有率を8%に増量したことで、さらにおいしく仕上がりました。2014年9月29日から12月下旬にかけて全国で発売中です。



その他事業部門



当第2四半期連結累計期間

売上高

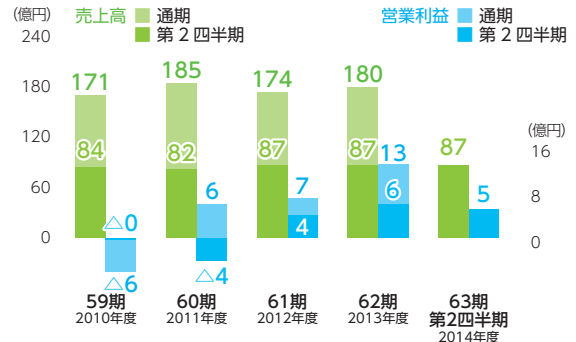
87 億円

(前年同期比：0.8% ↓)

営業利益

5 億円

(前年同期比：19.9% ↓)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、基礎化粧品の主力ブランドである「パラビオ」「リベシィ」および「リベシィホワイト」を中心としたカウンセリング型訪問販売活動を継続して展開しました。

また、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分の「価値普及」活動の活性化を図るとともに、同成分を配合した「ラクトデュウ S.E.ローション」を当第2四

半期の重点商品と位置づけ、「夏こそ保湿」をテーマに新しいお客さまとの接点づくりに取り組みました。

一方、プロ野球興行については、神宮球場において各種イベントを通じたファンサービスやさまざまな情報発信を行い、入場者数の増大と売上増加に努めています。

また、ファンサービス強化の一環として、7月にオフィシャルグッズショップの2号店をオープンしました。

●8年ぶりの「ヤクルトレディ」新テレビCMを放映中!

誕 生から51年を迎えるヤクルトレディの活動を、改めて広く皆さまに知っていただくため、俳優の大泉洋さんを起用した「ヤクルトレディ」の新テレビCMを8月1日より放映しています。ヤクルトレディとお客さまとのやりとりを見ている第三者の視点で、大泉さんがヤクルトレディの魅力についてつぶやく今回のCM。大泉さんならではの明るいキャラクターにより、視聴者の皆さまにユーモアと共感を届けます。



>> Consolidated Financial Statements

第2四半期連結貸借対照表

単位：億円

科目	第62期連結会計年度 平成26年3月31日現在	第63期第2四半期 平成26年9月30日現在
資産の部		
流動資産	2,112	2,161
固定資産	3,082	3,203
有形固定資産	1,842	1,896
無形固定資産	60	63
投資その他の資産	1,179	1,243
資産合計	5,195	5,364
負債の部		
流動負債	1,089	1,177
固定負債	1,026	960
負債合計	2,115	2,137
純資産の部		
株主資本	2,737	2,890
資本金	311	311
資本剰余金	415	415
利益剰余金	2,416	2,571
自己株式	△405	△407
その他の包括利益累計額	10	△10
その他有価証券評価差額金	111	135
為替換算調整勘定	△81	△129
退職給付に係る調整累計額	△19	△16
少数株主持分	332	346
純資産合計	3,080	3,226
負債・純資産合計	5,195	5,364

第2四半期連結損益計算書

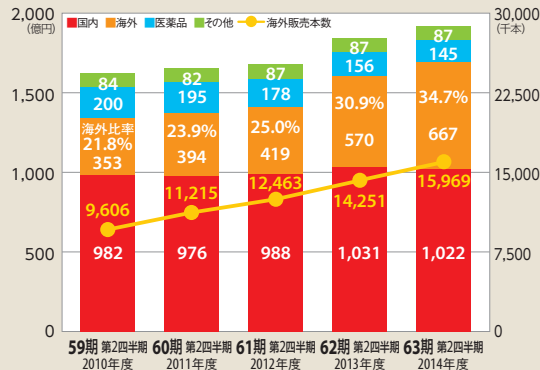
単位：億円

科目	第62期第2四半期累計 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	第63期第2四半期累計 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
売上高	1,726	1,804
売上原価	776	807
売上総利益	950	997
販売費及び一般管理費	796	831
営業利益	154	166
営業外収益	48	49
受取利息	10	12
受取配当金	6	7
持分法による投資利益	16	18
その他	15	10
営業外費用	11	8
支払利息	3	3
支払手数料	5	0
支払補償費	—	1
その他	2	2
経常利益	192	207
特別利益	3	1
固定資産売却益	3	0
負ののれん発生益	—	0
その他	0	0
特別損失	5	2
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	2	2
その他	0	0
税金等調整前四半期純利益	190	206
法人税等	61	62
少数株主損益調整前四半期純利益	129	143
少数株主利益	22	23
四半期純利益	106	120

第63期第2四半期のポイント

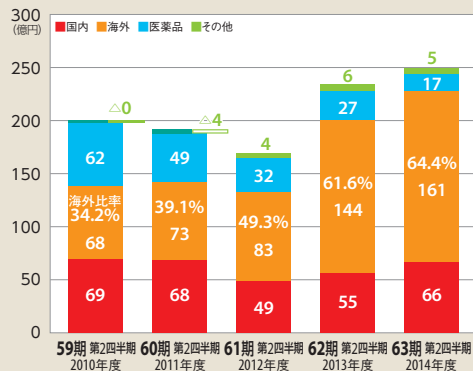
1. 全体は増収・増益
2. 国内飲料はジュース・清涼飲料が減少したものの、乳製品の価格改定効果等により、減収・増益
3. 海外飲料はアジアを中心とした販売本数の大幅増加等により、増収・増益
4. 医薬品はエルプラットの消費税増税前需要の反動により、減収・減益

▶ 売上高推移 (連結)



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

▶ 営業利益推移 (連結)



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 単位: 億円

科目	第62期第2四半期累計	第63期第2四半期累計
	平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	213	233
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△218	△293
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	34	89
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	△19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	97	9
現金及び現金同等物の期首残高	827	956
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	△2
現金及び現金同等物の四半期末残高	925	964

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益206億円に加え、減価償却費や配当の受取り等があったことにより、233億円(前年同期比20億円の収入増)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の新設、増設および更新による固定資産の取得があったことにより△293億円(前年同期比74億円の支出増)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入れによる収入があった一方で、リース債務の返済や配当金の支払い等により89億円(前年同期比54億円の収入増)となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索

ヤクルトレディの「仕事」と「家庭」を支える ヤクルトの企業内保育所

～働くママをサポートする企業内の取組み～

1963（昭和38）年にスタートしたヤクルト独自の女性によるお届け組織である「ヤクルトレディ」。小さなお子さまがいても安心して働けるよう、1970年代に各地区において企業内保育所の設置が始まりました。今回は、働くママをサポートするヤクルトの企業内保育所をご紹介します。

ヤクルトレディが働きやすい環境づくりのための「ヤクルト保育所」

ヤクルトは、女性の社会進出を応援しており、主婦の方にとって働きやすい時間帯の設定や、仕事経験がない方でも安心して働ける研修制度など、さまざまな側面からヤクルトレディの働きやすい環境をサポートしています。その中の一つが、ヤクルトの企業内保育施設「ヤクルト保育所」の運営です。ヤクルト保育所は、1970年代に販売会社の独自運営から各地で始まり、1980年代にヤクルトレディのイメージ統一を推進する流れに合わせて、全国に開設されました。

平成26年3月末時点で、約8,100人のヤクルトレディ（化粧品販売スタッフを含む）が保育所を利用しています。

ママも安心！ 保育児童は約1万人 ヤクルトの企業内保育所だからできること

ヤクルト保育所では、子どもの年齢や成長に合わせた保育を考え、初めての集団生活となる子どもにも、日々の規則正しい生活リズムに沿って集団生活のルールを守り、楽しく、仲良く、元気に毎日を過ごせる保育環境を目指しています。少人数の保育環境なので、一人ひとりの成長に寄りそった保育ができ、異年齢の交流もできるため、思いやりの気持ちが自然に育まれます。

また、同じ環境で働くヤクルトレディは、ほとんどが子育て経験者なので、お互いに相談したりフォローしあえます。ヤクルトレディの中には、子どもの頃にこの保育所に預けられ、今では自分の子どもをヤクルト保育所に預けているという二世帯利用のママもいます。

ヤクルトレディと保育所の一日（例）

ヤクルトレディの多くは、仕事と育児を両立しながら働く素敵な女性です。

彼女たちの一日をご紹介します。



朝の家事を済ませ、
行ってきまーす！

子どもと一緒にヤクルト保育所へ。ヤクルトレディの一日がスタートします。



ヤクルト保育所に
到着

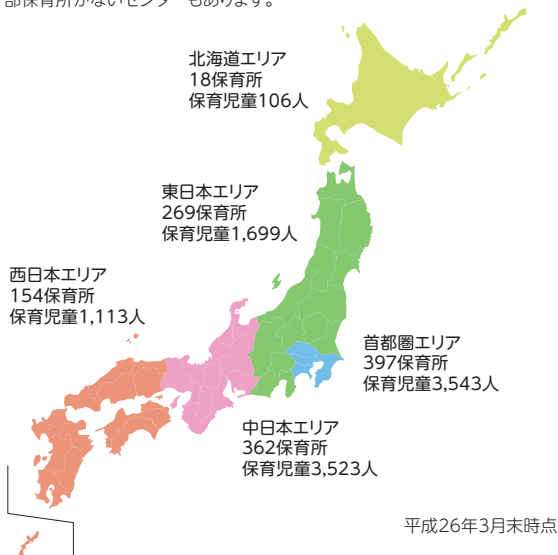
経験豊富な専任の保育者が責任をもって子どもの面倒をみてくれるので、安心して働けます。

ヤクルト保育所のメリット

全国1,200保育所 職場から近くて便利

販売会社が運営するヤクルト保育所は1,200か所あり、その多くがヤクルトセンターの近くにあり^(※)。保育所併設のセンターもあり、保育所に子どもを預けにくい時間的なロスがありません。

※一部保育所がないセンターもあります。



保育所運営のサポート体制も充実

常に進歩する保育、子育て情報を取り入れられるように、オリジナルの保育カリキュラムや情報誌を提供し、保育の専用電話相談窓口を設置するなどサポート体制も充実しています。

国の基準+独自基準によるチェック体制

ヤクルト保育所の保育内容は、国の基準である「認可外保育施設指導監督基準」に加え、ヤクルトグループとして守るべき項目をプラスしたマニュアル「ヤクルト保育所基準」により独自に整備しています。全ての保育所に「ヤクルト保育所基準」を配布し、基準に基いた保育ができていないかチェックできるようにしています。

質的向上を図るカリキュラムや資格取得

子どもの年齢に合わせた適切な保育内容をまとめた「ヤクルト保育カリキュラム」も整備し、全ての保育所の質的向上とさらなる充実を目指しています。また、ヤクルト保育所では、延べ600人の保育者が小児MFA(メディックファーストエイド)^(※)ライセンスを取得し子どもの急な発熱・病気や万が一の事故などの発生時には手当を行います。

※心肺蘇生法や大出血などの応急手当てやAED(自動体外式除細動器)を用いた子どもの急な病気や怪我の応急手当てのこと

子ども



ママ

お散歩



お昼ごはん



お昼寝



自由あそび



ヤクルト保育所にお迎え



ヤクルトセンターに到着

お届け業務



センターで仲間とランチ



売上のまとめや翌日の準備



子どもの病気や家庭の事情でお休みしても、仲間のヤクルトレディがフォローしてくれるので安心です。

保育者から子どもの様子を聞いたり、育児の相談もできるので安心して子育てをしながら働けます。

>> Information

現在、日本を含む33の国と地域で、
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、
世界中で毎日約3,000万本を超える乳製品がご愛飲されています。

【ヤクルトの乳製品売上本数】



= 100万本



= 10万本

海外：2014年1月～6月の1日当たり平均本数
日本：2014年4月～9月の1日当たり平均本数

EUROPE

▶ 国と地域：12

▶ 1日当たりの販売本数：61万本

ヨーロッパ地域

- フランス
- スペイン
- オランダ
- ベルギー
- ルクセンブルク
- イギリス
- アイルランド
- ドイツ
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス

THE AMERICAS

▶ 国と地域：6

▶ 1日当たりの販売本数：574万本

米州地域

- ブラジル
- ウルグアイ
- メキシコ
- ベリーズ
- アメリカ
- カナダ

JAPAN

日本 ▶ 1日当たりの販売本数：892万本

ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

▶ 国と地域：14

▶ 1日当たりの販売本数：1,827万本

- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- ニューゼaland
- マレーシア
- ベトナム
- インド
- 中国



会社概要

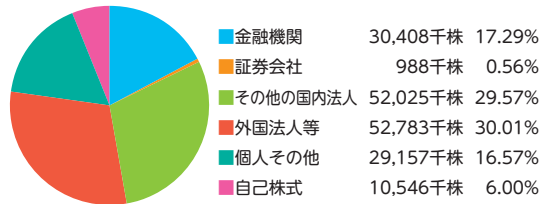
商号 株式会社ヤクルト本社
(YAKULT HONSHA CO., LTD.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03 (3574) 8960 (大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,979人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者327人および嘱託147人を含んでいます。

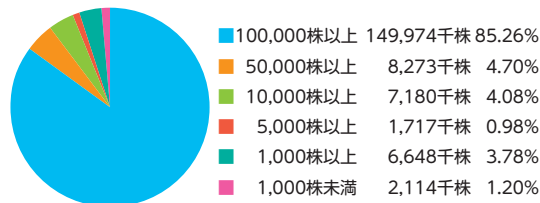
株式の状況

発行可能株式総数……………700,000,000株
発行済株式総数……………175,910,218株
株主数……………19,375名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員

代表取締役会長 (CEO)	堀 澄也	取締役	安田 隆二	常勤監査役	阿部 晃範
代表取締役社長 (COO)	根岸 孝成	取締役	福岡 政行	常勤監査役	山上 博資
取締役	川端 美博	取締役	クリスチャンノイ	監査役	奥平 哲彦
取締役	根岸 正広	取締役	ベルランドオースイ	監査役	角屋 良平
取締役	成田 裕	取締役	大関 康男	監査役	谷川 清十郎
取締役	椎野 健一	取締役	山本 公総	監査役	小林 節子
取締役	伊藤 正徳	取締役	松園 直史	監査役	吉田 宏一
取締役	リチャードホール				

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
パークレイズバンクピーエルシー シンガポール ノミニ ダノン プロバイオティクス プライベート リミテッド	35,212	20.02
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.82
松尚株式会社	4,917	2.80
共進会	4,446	2.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,839	1.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,493	1.42
麒麟ビバレッジ株式会社	2,458	1.40
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24
中村輝夫	2,031	1.15

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会社です。
上表のほか、当社は自己株式10,546千株を保有しています。

ヤクルト工場を見学しませんか

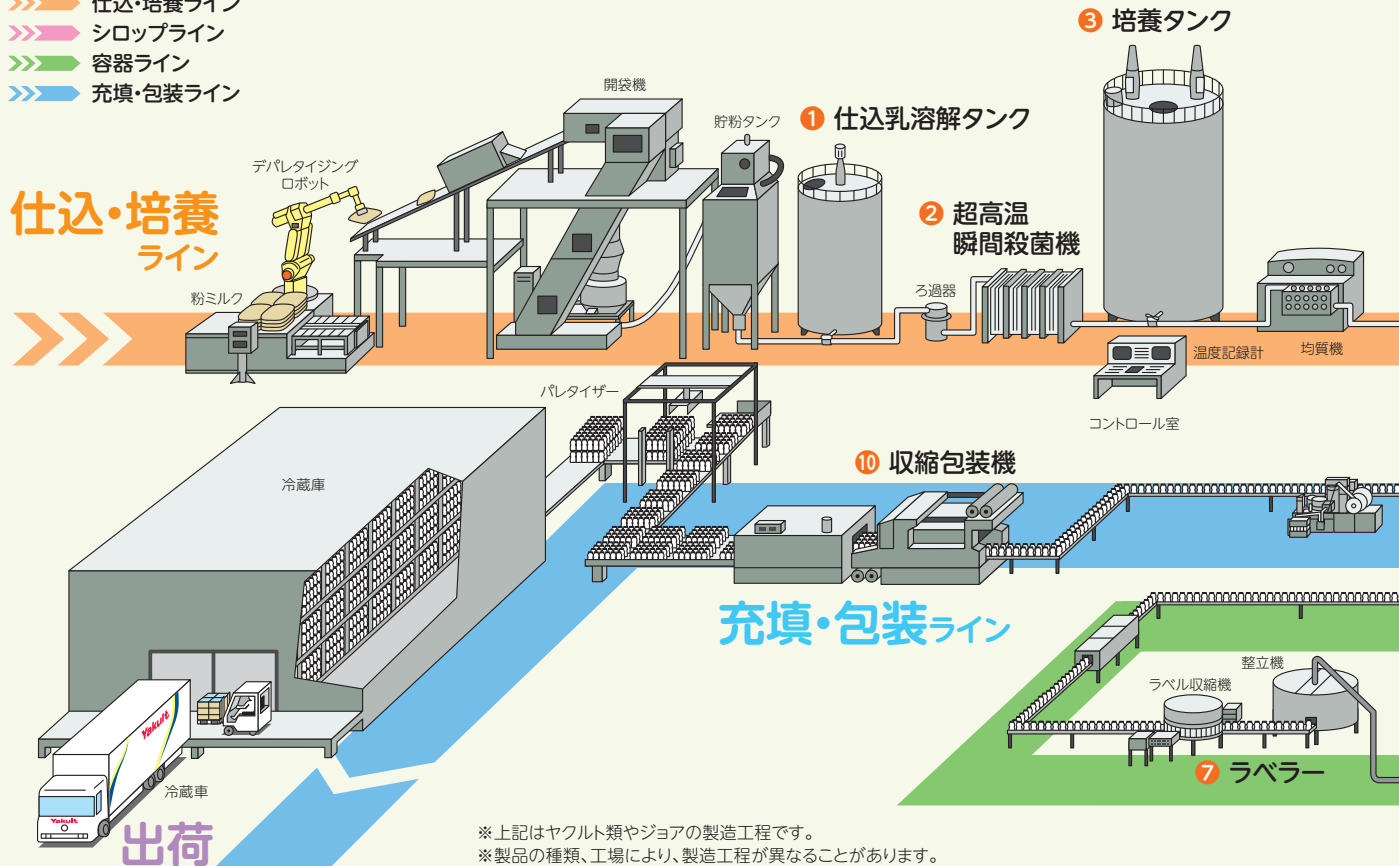
ヤクルトをもっと知ろう!

ヤクルト商品の説明や「ヤクルト」が、どのように造られているかを、専門の係員がわかりやすく説明いたします。幼稚園から老人会様など、さまざまな団体の方にご見学いただいています。少人数（ご家族など）でも大歓迎ですし、おみやげもご用意しておりますので、みなさまで是非お越しください。

乳製品のできるまで

全国各地のヤクルト工場では、「ISO、HACCP」にもとづいた徹底した品質および衛生管理を行っております。

- >>> 仕込・培養ライン
- >>> シロップライン
- >>> 容器ライン
- >>> 充填・包装ライン



※上記はヤクルト類やジョアの製造工程です。
 ※製品の種類、工場により、製造工程が異なることがあります。

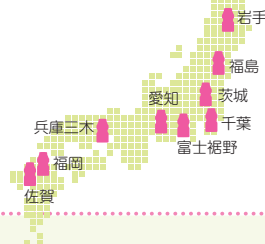


工場見学のお申込み方法について

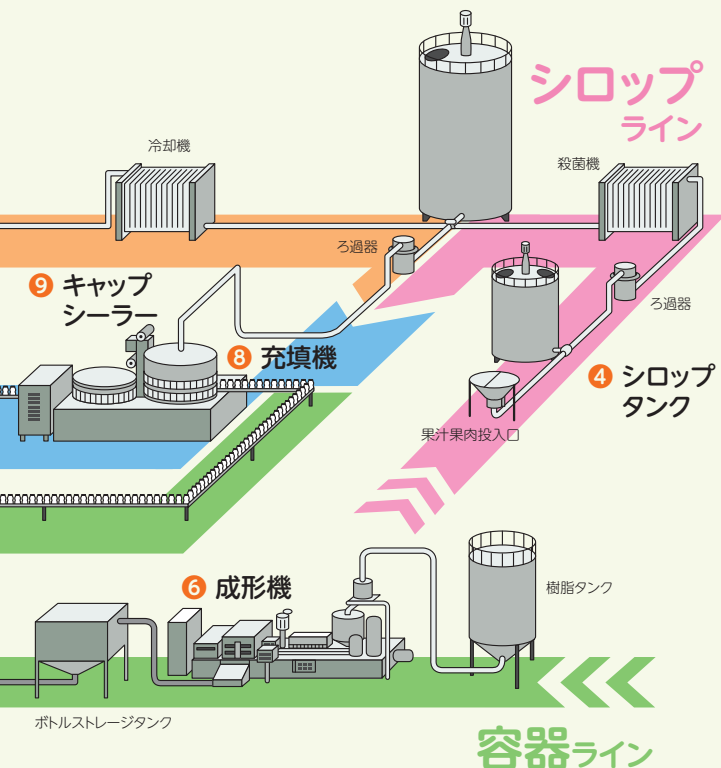
全国のヤクルトグループの工場を、無料で見学いただけます。予約制となっていますので、事前にご希望のヤクルト工場までお電話でお申し込みください。

ヤクルト本社のホームページからもお近くのヤクルト工場を検索できます。

詳しくは右記にて ▶ <http://www.yakult.co.jp/knowledge/factory/index.html>



⑤ 調合・ストレージタンク



これら商品やその原料液などが造られています

お客さまに安心して商品をご愛飲いただけるよう、各製品は原料の仕込みから培養、調合、容器の成形や充填、包装、出荷まで、一貫した生産システムの中で製品づくりを行っています。



① 仕込乳溶解タンク	粉ミルクをお湯でとがしてミルクにします。
② 超高温瞬間殺菌機	ミルクを殺菌します。
③ 培養タンク	乳酸菌ではっ酵し、はっ酵液をつくります。
④ シロップタンク	シロップ液をつくります。
⑤ 調合・ストレージタンク	はっ酵液とシロップ液を混合して原料液のできあがり。
⑥ 成形機	容器をつくります。
⑦ ラベラー	容器にラベルをかぶせます。
⑧ 充填機	液をつめます。
⑨ キャップシーラー	キャップをします。
⑩ 収縮包装機	決められた本数ずつ包みます。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境・社会活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さま向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

●当社商品3品(「ジュース詰め合わせ」「乾めん詰め合わせ」「化粧品」)のうち**好きな商品を1品**進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

●当社商品3品(「ジュース詰め合わせ」「乾めん詰め合わせ」「化粧品」)のうち**好きな商品を2品**進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は7月下旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で開催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

●対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流戦2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100~999株所有の株主の皆さま

●年間2試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告掲載方法 電子公告 <http://www.yakult.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
(郵便物送付先) 連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

株式に関する手続きについて 株券電子化にとまなない、現在の各種手続きのお申し出先は次のとおりとなっております。

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。

Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960(大代表)

<http://www.yakult.co.jp/>

